



東京オリンピック・パラリンピック 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」 「金メダルのまち＝大府市」から都市鉱山を活用してメダルを作ろう！

大府市は、昨年10月に、至学館大学及びリネットジャパン株式会社で「都市鉱山メダル連携促進委員会」を発足しました。その後、同年12月に環境省、小型家電リサイクル法の認定事業者とともに（代表者一般財団法人日本環境衛生センター）東京2020大会の入賞メダル製作に向けて実施する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」について、応募し、平成29年2月1日に公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会において、採択されました。

このプロジェクトは、環境省等の呼びかけにより、3月末の時点で600を超える自治体が賛同し、この4月からオリンピックのメダルを制作するため不要となった小型家電の回収を行っています。

本市は、市民の方々が「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」により、東京オリンピック・パラリンピックへの参加意識、アスリートへの応援意識、そして「もったいない」という意識を持つことができるよう啓発をしていきます。

現在、事務局であるリネットジャパンとともに回収量や参加人数が一目でわかるアプリの開発を行っており、当市からも発信し、みなさんにお使い頂くことも考えています。

「金メダルのまち＝大府市」から都市鉱山を活用してメダルをすることで、「都市鉱山メダル発祥の地＝大府」となるよう小型家電の回収を推進していきます。

■都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクトにおける大府市の取り組み

回収量／平成27年14,448kg、平成29年目標 年91,000kg（一人当たり1Kg）

回収期間／平成29年4月～平成31年春頃の予定

回収方法／市内公民館・石ヶ瀬会館・市役所等11ヶ所に回収ボックスを設置、

リネットジャパンによる宅配回収、イベント（産業文化まつり等）での回収

【参考情報】

- ・オリンピック・パラリンピック合わせて金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルを製作、必要回収量：金9.6Kg、銀1,210Kg、銅700Kg（金9.6Kg、＝携帯電話32万台、パソコンなら5万台）大会組織委員会はその4倍を集める方針
- ・大府市HP（都市鉱山メダル運動）

https://www.city.obu.aichi.jp/contents_detail.php?frmId=31847&print=1

- ・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」HP

<http://www.toshi-kouzan.jp/>



【問い合わせ先】

大府市役所市民協働部環境課

担当 : 久野 幸裕 (クノ ユキヒロ)・鈴木 善和 (スズキ ヨシカズ)

電話 : 0562-45-6223

FAX : 0562-47-7320

E-mail : kankyo@city.obu.lg.jp